

(株)富士通交通・道路データサービスの物流プローブ®データ分析サービス FUJITSU

物流不動産向け
情報サービス
『FoXYZ』

物流不動産ディベロッパー

適正運行ルート
策定支援サービス
『ToXYZ』

輸送事業者

輸送コスト適正化
支援サービス
『SoXYZ』

荷主・3PL

商用車走行実績
データ解析サービス
『MoXYZ』

地図・カーナビ

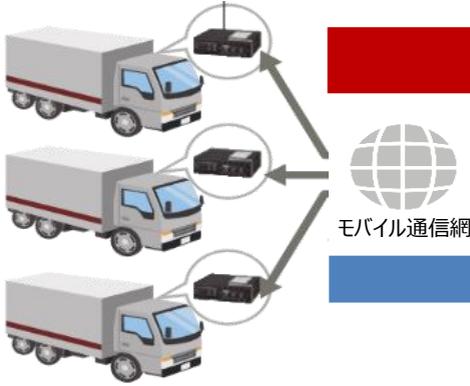
『oXYZ』※シリーズとして展開

※「oXYZ®」とは「品格あるデータ上の」という意味を含めた、弊社のサービス・ソリューションシリーズの名称です。

物流プローブ®データ

貨物トラック14万台のデジタル
(モバイル通信機器)

デジタルタコグラフ(運行記録計)



運行管理と分離してデータを収集・秘匿化
営業秘密や個人情報などを完全に排除



運行管理
走行履歴データ

『データの品格®』に重きを置いた
データ収集・蓄積・活用



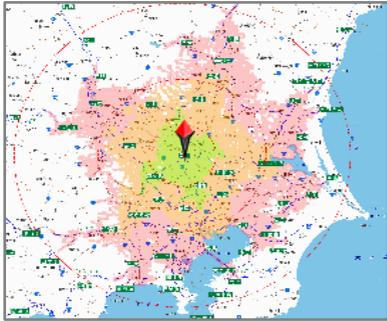
物流不動産向け情報サービス『FoXYZ』 サービス概要

全国の貨物トラック14万台の走行実績ビッグデータをもとに、実際の輸配送において、物流センターから到達可能なエリアや主要ランドマークまでの実所要時間などの情報をご提供致します。

ディベロッパーによるテナント候補企業への訴求力を向上、さらに新規開発戦略や3PL・輸送事業者の拠点戦略の立案に貢献します。

1. 物流センターのテナント誘致

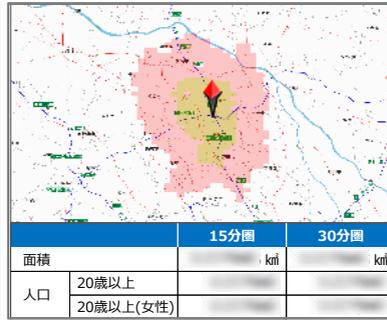
時間別到達圏情報



主要ランドマーク所要時間



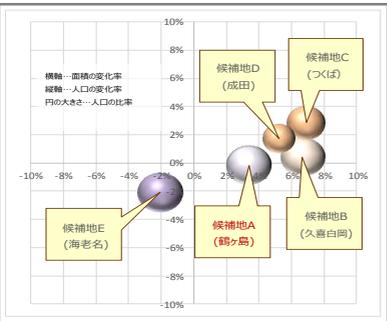
労働人口情報



- 貨物トラックが実際に運行可能な経路に基づく時間別到達圏や所要時間などの情報により、物流センター等の立地の輸配送性能の優位性を評価
- 車通勤の時間圏に基づく通勤圏労働人口を可視化し、人材採用未経験エリアにおける人材市場のポテンシャルを把握

2. 物流センター新規開発、荷主・3PLの拠点戦略

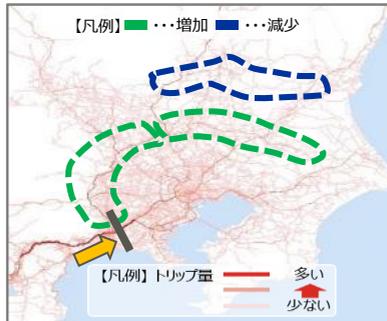
ベンチマーク



物流ODトリップ分布



物流経路分布



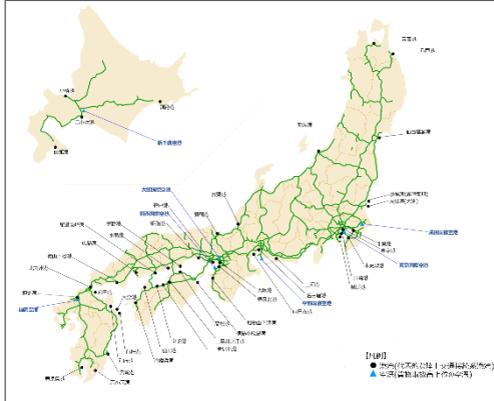
- 物流から見た商圈分析や競合施設などの状況も考慮し、物流センターとしての最適用途を検討
- 道路インフラの拡充や経済環境の変化に伴う物流の流れの傾向や変化を把握
- 新規施設の開発戦略(スマートIC直結中継施設など)や3PL・輸送事業者の拠点戦略の立案

1. FFP100※による地方自治体の交通利便性分析

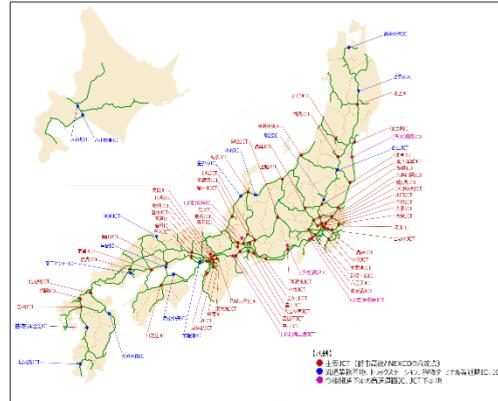
※FFP : FoXYZ FiXed Point の略

FFP100地点例

主要港湾・空港



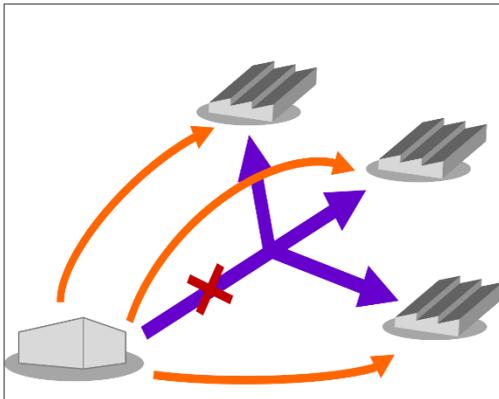
主要JCT・IC



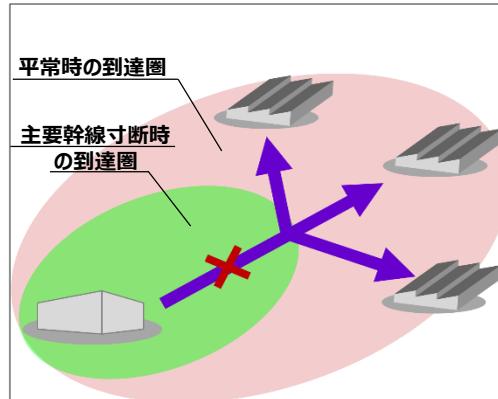
- 物流や交通の起点となる全国の主要港湾、空港、主要JCT、ICなどを「FFP100」として選定し、交通利便性を定点観測
- 例えば、「苫小牧(港湾)→新潟(港湾)→首都圏」など、地方自治体からFFP100を経由して主要都市圏へアクセスする場合の到達可能圏や所要時間を分析
- 継続的に観測を行うことで、道路の新規開通などに伴う到達可能圏や交通利便性の変化を評価

2. 防災への活用（輸配送の視点からのBCP対策）

①輸配送可能ルートの確保



②輸配送可能圏の把握



①輸配送可能ルートの確保

- 配送ルート上の主要幹線が寸断した場合に、輸配送継続のための代替ルートとその所要時間を分析

②輸配送可能圏の把握

- 既存の物流拠点や工場について、主要幹線が寸断した場合の影響を考慮した配送可能圏を把握